

# 愛知県感染症情報

## 平成 11 年第 46 週（11 月第 3 週）

### （コメント）

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、インフルエンザが増加しています。  
感染性胃腸炎も増加していて、定点当たり 4.1 人の報告がありました。  
先生方からのコメントに、マイコプラズマ肺炎の報告が多く見られますので注意してください。

### （先生方からのコメント）

- ・ 伝染性単核球症 6 才男  
感染性胃腸炎、溶連菌感染症増加  
（豊橋市 大谷小児科）
- ・ カンピロバクター 2 才男  
溶連菌感染症増えてきました。  
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ 異型肺炎 7 才  
（岡崎市 医療法人深田小児科）
- ・ 病原性大腸菌 0-86a(+)VT1、VT2(-) 12 才女  
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ サルモネラ腸炎 0-4(+) 3 才男  
（岡崎市 医療法人川島小児科水野医院）
- ・ MCLS 2 名（1 才男、1 才女）  
（蒲郡市 蒲郡市民病院）
- ・ マイコプラズマ肺炎 1 才女  
（小坂井町 医療法人宝美会総合青山病院）
- ・ サルモネラ腸炎 1 才男、病原性大腸菌 0-25 1 才男、マイコプラズマ肺炎 6 才男  
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ 水痘 6 才ワクチン歴あり  
（知立市 近藤こどもクリニック）
- ・ 一家 7 人のトロロ汁(生卵入り)が原因か？サルモネラ sp0-9\* による食中毒 祖父母、両親、子供 3 人（8 才女、1 才女、3 才男）  
（美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院）

\* sp0-9 はサルモネラ属 0-9 の意。

- ・ 知多地区にも感染性胃腸炎が増えてきました。  
病原性大腸菌 0-1 VT1、VT2(-) 1才男  
ロタウイルス陽性 1才女  
(東海市 小児科ハヤカワ医院)
- ・ 溶連菌感染症が増加傾向  
水痘、手足口病、突発性発疹散発  
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ 溶連菌感染症が多く見られます。マイコプラズマ肺炎(2才、3才、4才、5才、6才児)も多く、マイコプラズマ感染に誘発される気管支ぜんそくも目立ちます。  
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ 溶連菌が流行っている様です。  
(春日井市 片山こどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ肺炎、乳児嘔吐下痢症が増加しています。  
(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ カンピロバクタ - 腸炎 9才男  
マイコプラズマ肺炎 3才男  
パラインフルエンザ 型感染症 2人(39才女、6ヶ月男)  
(尾西市 城後小児科)
- ・ 手足口病 散見  
先行感染を認める末梢状顔面神経麻痺が短期間に散見された。  
(一宮市 後藤小児科医院)
- ・ 嘔吐を伴う胃腸炎、水痘が流行しています。  
(江南市 みやぐちこどもクリニック)

(1~3類感染症の発生状況)

- ・ コレラ患者 3名。  
春日井保健所から報告の 70才女(11/9発病、11/12初診、11/16診定)、60才男(11/9発病、11/14初診、11/16診定)、76才男(11/10発病、11/14初診、11/18診定)いずれも菌型は、エルトール小川型、北京渡航歴有り。

( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

梅毒患者 3 名。

急性ウイルス性肝炎患者 1 名。

ツツガムシ病患者 1 名。

第 44 週 ( 11 月 1 日 ~ 7 日 ) の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、ヘルパンギーナの定点当たり報告数が、例年の同時期に比べやや多く、突発性発疹はかなり多くなっている。水痘は冬期の流行シーズンにむけて報告数が増加傾向にあり、新潟県では定点当たり 3.47 の報告がある。感染性胃腸炎は大分から定点当たり 14.36 人の報告がある。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供 )